



設楽ダムだより

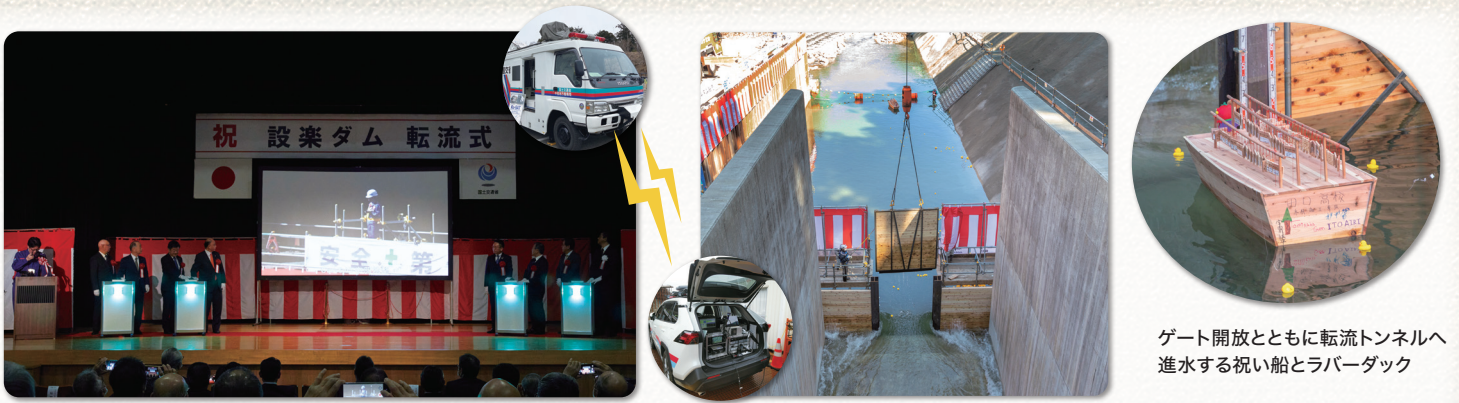
第150号

転流式特集号

2023.3



設楽ダム
転流開始



式典会場と現場の呑口部とを国土交通省衛星通信車と「Car-SAT(カーサット)」とで生中継し、転流開始の青ランプ点灯とともにゲート引き上げ

ゲート開放とともに転流トンネルへ進水する祝い船とラバーダック



転流開始を祝しくす玉を開披(左から、林正道国土交通省治水課長、夏目工(一社)奥三河ビジョンフォーラム理事長、村上孝治東栄町長、田中義章豊川市副市長、鈴木寿明蒲郡市長、浅井由崇豊橋市長、下江洋行新城市長、鈴木正直田原市副市長、伊藤実豊根村長、山口伸彦設楽町議会議長)



皆様のメッセージが託され、転流トンネルへと進んだラバーダックは、その後広報展示室で整列中



「設楽ダム転流式」の「祝い船」を田口高等学校林業科3年生が制作!!

転流式のご出席の皆様方からいただいたメッセージを乗せる「祝い船」を、愛知県立田口高等学校林業科の3年生に制作していただきました。構想、設計から完成にいたるまで、わずか2か月という短期間での制作となりましたが、東三河と設楽町の将来に想いを馳せながら、長さ約1.8メートルのとても立派で素敵な船が出来上がりました。

祝い船は転流式当日、転流開始の合図とともに皆様の想いや願い、水源地域への感謝を乗せて出航し、無事に転流トンネルへと進んでいきました。田口高等学校の皆様、本当にありがとうございました。



祝い船を制作した林業科の3年生たち
左から富坂さん、杉村さん、伊藤さん、宇田川さん



設楽町産の原木を加工した製材を吟味する生徒



設楽町のキャラクター「とましーなちゃん」を船頭に
進む祝い船



祝い船にはメッセージが書かれた木札がずらり
そして制作した高校生たちのサインも

川) 本川の流れを切り替える「転流」という、ダム事業における大きな節目を迎えることができました。今後、ダム本体工事を本格的に進めて完成と付替道路の供用に向けて全力で取り組んでまいります。
設楽ダム工事事務所 長 真鍋 将一

祝 設楽ダム 転流式



転流開始のスイッチを押下(左から金田直孝設楽ダム対策協議会会長、峰野修愛知県議会議員、足立敏之参議院議員、根本幸典衆議院議員、伊藤涉衆議院議員、林全宏愛知県副知事、土屋浩設楽町長、稲田雅裕中部地方整備局長)

令和5年2月25日(土)、設楽町の奥三河総合センターにおいて、「設楽ダム転流式」を開催しました。式典には、地元の代表として設楽町長、設楽町議会議員、設楽ダム対策協議会役員、設楽町区長の皆様、また、国会議員、愛知県副知事、愛知県議会議員、東三河地域の市町村長、下流受益市の議会議長の皆様など、約90名の方々にご出席いただきました。

式典冒頭、土屋浩設楽町長より、「町は半世紀にわたりダム問題に翻弄され、気の遠くなるような時間を費やしてきた。また、町議会の皆さんや多くの関係者、町執行部、そして国、県の関係の皆さんがそれぞれの立場で地域のことを想いながら奔走してこられた。平成21年、町は苦渋の末にダムを受け入れて建設同意協定書に調印し、たくさんの方々が住み慣れた地域を離れ、そして今、長い年月の間に残念ながら他界された方もいる。そういった方々の想いに応えるため、これからも責任をもって取り組む」、「設楽ダム建設事業そのものも、設楽町のまちづくりも道半ば。設楽町の明るい未来のため、次の世代が自ら誇れる地域を創り遺していくために頑張りたい」、「豊川流域圏や東三河の発展のため、水源地域も下流域も手を携え、一体となって進んでいくことが最も大切」との挨拶がありました。

来賓の皆様方のご祝辞では、水源地域の皆様方への感謝とともに、「最高のダムができて栄えたまちを皆さんと一緒ににつくっていききたい」、「下流域の住民が水源地に足を運び続ける、感謝の気持ちを持ち続けることが大事」、「奥三河地域の振興なくして東三河地域全体の発展はない」などのお言葉をいただきました。

そして、転流開始の合図の後、転流工呑口部のゲートが開放され、地元の愛知県立田口高等学校林業科3年生に制作いただいた祝い船と、ご臨席の皆様のメッセージが託されたラバーダックを転流トンネルへと流すセレモニー等を行い、東三河が水でつながる新たな一歩を祝いました。



今枝宗一郎衆議院議員



根本幸典衆議院議員



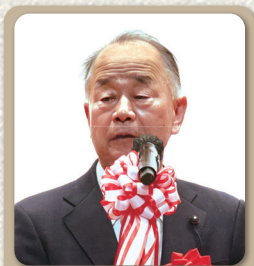
伊藤涉衆議院議員



足立敏之参議院議員



林全宏愛知県副知事



峰野修愛知県議会議員



土屋浩設楽町長



浅井由崇豊橋市長

水源地域の皆様方をはじめ、多くの関係の皆様方のご協力により、設楽ダムの調査の申し入れから約50年の時を経て、この度、豊川(寒狭まいますが、皆様の暮らしや産業活動の安全安心を確保し、水源地域、東三河地域の発展につなげていくため、一日も早い安全なダムの

転流工の概要

ダム本体工事を行うために、川の流れを仮排水トンネル（転流トンネル）に切り替えることを転流と言います。そのための構造物が転流工です。転流工は、呑口部、トンネル部、吐口部で構成されています。

仮排水トンネルは平成30年7月に工事に着手し、平成31年2月に完成しました。

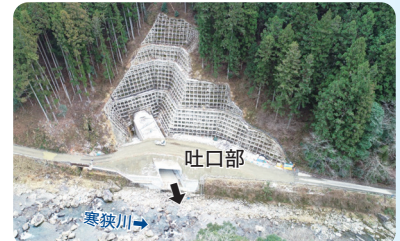
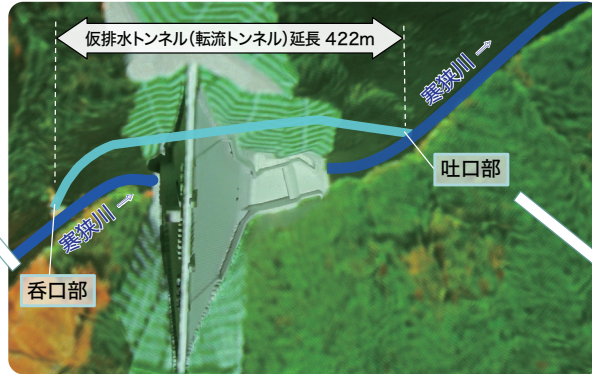
また、呑口部と吐口部の接続工事は令和3年11月に着手し、転流式にあわせて令和5年2月に概成しました。



呑口部



呑口部全景



吐口部

吐口部全景



吐口部

設楽町の魅力再発見

令和4年度最後の掲載ということで、本号ではこの1年間の総集編をお届けします。

ダムだよりの取材を通して、普段は体験できない釣りやキャンプ、オリエンテーリングなどの「アクティビティ」を楽しむことができ、また、設楽町の新鮮な野菜や五平餅、田峯の紅茶といった「グルメ」も味わうことができました。さらには、きららの森で「自然」の豊かさや壮さを感じ、田峯城をはじめとした山城ではこの地域の「歴史」を学んで感じることができました。そして何よりも、私たちの取材に関わってくださった設楽町の方々には毎回本当に優しく迎え

入れていただき、設楽町の「人」の優しさと温かさを感じました。この設楽町の魅力を、私たちの記事を通じて少しでも多くの人に届けることができているなら、こんなに嬉しいことはありません。

最後になりますが、昨年4月から「設楽町の魅力再発見」を担当させていただきました岩間、大谷は異動のため本号が最後の執筆となります。この1年間、取材にご協力いただいた皆様、私たちの記事を温かく見守りながら読んでいただいた皆様、本当にありがとうございました。

これからも設楽ダム工事事務所をよろしくお祈いします！



きららの森



歴史



五平餅



オリエンテーリング

